

学校倶楽部の推移

年	内容（部名は宇都宮高校 120 周年誌）	影響
明治	1887 生徒共励会 1891 生徒撃剣会 1896 ベースボール部 1899 柔道部 ニュートン会・ファラデー会・ケルヴィン会	・ ジェントルマン教育には、寄宿生活だけでなく、課外活動も重視されるべき ・ 教師も積極的に関与することにより、その学校や寄宿舎への帰属意識を高めたり、アイデンティティを強くしたり、過激な行動に走りがちな学生のエネルギーを昇華させたりして、全人格形成に大きな影響を与える。
大正	図書部・徒歩部・庭球部・応援団・蹴球部	課外活動の教育価値は、健全なる学校精神を作るための手段としてだけでなく、学校管理上からも保護者を学校への興味を起こさせる助けになり、活動そのものも、児童・青年の将来の社会生活に対してよい訓練を持つ。
昭和 18 (1943)	修練	軍事訓練が主であるものの、中には生徒の体験学習や自発研究。
昭和 22 (1947)	自由研究(学習指導要領一般編試案)	クラブ組織による活動
昭和 26 (1951)	「教科以外の活動」が新設され、クラブ活動が正規の教育活動になる。	「中体連」などの大会での優勝を目指し、クラブ活動の枠を超え、厳しい練習を行う部活動も見られる。
昭和 33 (1958)	特別教育活動として ・ 全員参加が望ましいこと ・ 教科の補充にならないこと ・ 週に 1 単位時間の充当が望ましい	・ 対外的な活動に関する問題 ・ 外部からの指導者の問題
昭和 44 (1969)	・ クラブ活動を必修化 ・ 部活動とクラブ活動を区別	・ 入試・進学塾・けいこ塾、そして深夜型の生活に流れてしまった子どもたちの生活を変える鍵 ・ 学校教育における一種の清涼剤 ・ 教師の後姿が何よりの教育 ・ 先輩後輩の関係づくり ・ クラブ集団が学級に変わって非行の抑止力 ・ ノンクラブ・帰宅部
平成 12 (2000)	必修クラブの廃止（中・高）	総合的な学習の時間の創設
令和 5～ (2023)	休日の運動部活動の地域移行に向けた改革集中期間（～R 7）	